

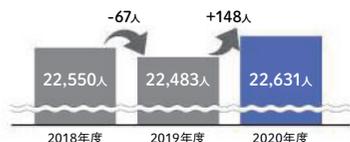
Q 職員数はどうなっているの？



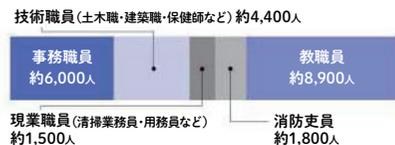
A 2020年度は22,631人です

特別支援学級の児童生徒数の増加に伴う教員の増加などにより、昨年度と比較して148人増員しました。引き続き、行政需要を見極め、より効果的・効率的な組織体制の構築に努めていきます。

■ 総職員数の比較 (各年度4月1日現在)



■ 職員の構成 (2020年4月1日現在)



Q 人件費はどのくらいなの？



A 2019年度は1,601億6,424万円*でした

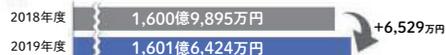
*2019年度一般会計決算。一般会計とは、教育・福祉・ごみ収集・道路整備など、行政の基本的な事業の会計

職員給与費が減ったものの、定年退職者数の増加により退職手当が増えたことなどから、人件費は前年度より約6,500万円増加。1人当たりの職員給与費は、前年度より1万円低い639万円となり、ほぼ横ばいで推移しています。

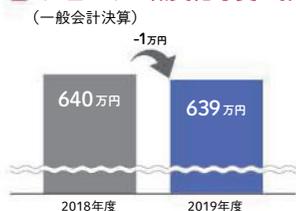
■ 人件費の内訳

- 職員給与費 — 給料と手当の合計
- 共済費 — 民間企業でいう、社会保険料のうち会社が負担する部分
- 退職手当など

■ 人件費の推移 (一般会計決算)



■ 1人当たりの職員給与費の推移 (一般会計決算)



勤務時間やサービスなど

勤務時間や休暇
勤務時間 月曜～金曜8時45分～17時15分(一般的な職員の場合)
休暇 年次休暇や結婚、出産、病気、子の看護、忌引、介護の休暇など

サービス管理
職員の不祥事を防止し、市民の皆さんからの期待に応えるため、各職場での研修などを通じ、服務規律の確保に努めています。

職員研修
新規採用職員向けの研修や職位に応じた研修、専門的な業務知識を学ぶ研修などを実施し、職員の育成に努めています。

市は今後も給与の適正化や、効率的な行政運営のための職員配置に努めていきます。給与・人事・研修などの詳細はホームページをご覧ください。

札幌市 人事行政 検索

札幌市職員の

市職員の給与や職員数などを紹介します

給与と人事

問い合わせ

- 給与・勤務時間・休暇は 勤労課 ☎211-2082
- 職員数・人件費・サービスは 人事課 ☎211-2072
- 研修は 自治研修センター ☎866-3666

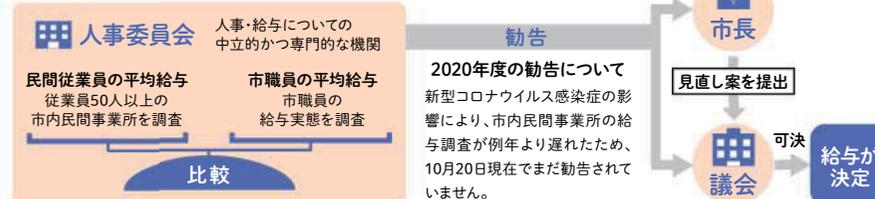
Q 職員の給与はどうやって決まるの？



A 民間企業で働く従業員の給与などを考慮して決めています

人事委員会が民間企業の従業員と市職員の給与を調査・比較。その結果を基に、市長と議会に勧告を行います。市長は勧告内容を踏まえた給与の見直し案を、議会に提出。議会の審議を経て、市職員の給与が決まります。

■ 給与が決まるまで



■ 給与などの状況 (2020年4月1日現在)

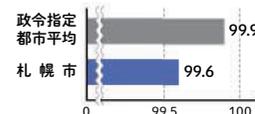
平均給与	340,462円
※行政職・平均年齢39.3歳	
初任給 (月額)	大学卒 179,500円
	高校卒 147,400円
特別職の給料・報酬 (月額)	市長 1,280,000円
	議長 1,040,000円
	議員 860,000円

■ 職員に支給される手当 (2020年4月1日現在)

扶養手当	扶養親族のいる職員に対し、子は1人11,000円、子以外は1人7,000円を支給
地域手当	国家公務員に準じ、市内に勤務する職員に給料・扶養手当・管理職手当の合計額の3%を支給
期末・勤勉手当	民間企業の賞与にあたるもの。年間4.5カ月分を支給
住居手当	借家・借間に居住する職員に対し、27,000円を上限に、家賃に応じて支給
寒冷地手当	扶養親族の有無などに応じて、年間44,000円～116,800円を支給
管理職手当	課長職以上に対し、85,700円～142,600円を支給
特殊勤務手当	下水処理や有害物取り扱いなどの危険・不快・不健康な業務などを行う職員に支給

■ 国の給料(月額)を100としたときの割合

(ラスパイレズ指数)(2019年4月1日現在)



*このほか、通勤手当や単身赴任手当、勤務の実績に応じて支給される時間外・休日・夜間勤務手当、宿日直手当、管理職員特別勤務手当などがあります